

社会資本総合整備計画																事後評価書						
計画の名称		人口減少・少子高齢社会に対応した青森駅周辺の交通環境改善（防災・安全）																				
計画の期間		平成２９年度 ～ 平成３３年度（５年間）										重点配分対象の該当			○							
交付対象		青森市																				
計画の目標		大目標：青森駅周辺におけるバリアフリー対策と交通結節機能強化																				
		目標１：鉄道により分断されている青森駅の東口と西口を、バリアフリーに対応した自由通路により一体化することで、高齢者や障がい者、子供連れの方々など、誰にとっても優しい、人口減少・少子高齢社会に対応したまちを形成し、青森駅周辺のにぎわいを創出する。																				
		目標２：自由通路の整備と合わせて西口駅前広場を自動車やバス等の多様な交通手段に対応するターミナルとして整備し、青森駅とバス等との経路をバリアフリーでつなぐことで、新青森駅やフェリーターミナルのある本市西部方面からの青森駅周辺への交通アクセス強化及び、現在飽和状態にある東口駅前広場の機能を西口と分担することにより																				
		アクセス環境を改善し、市民や観光客の来街を促進する。																				
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		6,142		A	6,142		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成29	平成31末	平成33末
1	近年減少傾向にある青森駅周辺の歩行者数に歯止めを掛ける。			
	青森駅周辺の歩行者数を調査する	11960人／日	11960人／日	11960人／日
2	平成22年12月の東北新幹線新青森駅開業（全線開業）により増加した年間観光施設入込客数を維持する。			
	年間観光施設入込客数を調査する	1555258人／年	1555258人／年	1555258人／年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
青森市バリアフリー推進整備計画に基づき実施される要素事業：A1～A2全て														

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	8・7・2号青森駅自由通路 （28-A1）	自由通路 L=0.17km	青森市	■	■	■	■	■	6,142		-
	A01-002	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・6・6号青森駅西口線（ 28-A2）	西口駅前広場 A=約 8,000㎡	青森市	■					0		-
		H30から都市再生整備計画へ移行																	
											小計						6,142		
											合計						6,142		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
青森市社会資本整備評価委員会	令和6年11月
	公表の方法
	市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・自由通路の整備により、鉄道で分断された東西の市街地がバリアフリーで結ばれ、冬季でも利用しやすい歩行空間が確保されたこと ・西口駅前広場の整備により、輻輳していた交通の整序が図られ、東口駅前広場の機能を補完し、自由通路と一体となって多様な交通手段に対応するよう交通結節機能が強化されたこと ・その他、青森駅周辺での様々な下記の環境変化が要因と考えられる ・JR東日本による青森駅東口駅舎跡地への駅ビル開発により、賑わいが創出されたこと ・国際クルーズターミナルの供用開始（H31.4）に伴ったクルーズ船来港の増加等により観光客が増加したこと ・青森駅周辺整備事業と平行して、同地区では、市役所の総合窓口機能や青森商工会議所の移転、あもり駅前ビーチ供用開始、再開発事業による商業施設やホテル・マンションの整備により、青森駅周辺での交流人口が増加したこと
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	本事業に伴う、同地区での様々な取組や効果は下記のとおり ・青森駅周辺では、四者連携により、多様なイベントが開催されており、同地区の賑わい創出につながっている。 青森駅周辺のまちづくりに関する連携協定（四者連携）：青森県・青森市・青森商工会議所・JR東日本の四者が相互に連携・協力しながら、地方創生に向けた青森駅周辺のまちづくりに関する取組を推進することを目的とし、平成30年6月6日に締結 ・自由通路の壁面が、文化芸術活動の場として多くの市民に利用されている。 ・青森駅西口から東口側の緊急輸送道路である（主）青森停車場線へのアクセスが3分短縮され、駅東西の連絡強化による災害等に強い地域づくりに大きな効果があった。 ・自由通路の整備により、津波・洪水、冬季の雪害（豪雪・暴風）等の多様な災害時において、周辺住民や観光客の緊急避難路として活用が可能となった。

○特記事項（今後の方針等）

・引き続き四者（青森県・青森市・青森商工会議所・JR東日本）で相互に連携・協力し、青森駅周辺の賑わい創出につながる取組を推進する。 ・道路空間の利活用に向けた社会実験等を実施するなど、賑わい創出に向けて継続的に取組む。
--

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	青森駅周辺地区の歩行者通行量		
	最 終 目標値	11960人 / 日	自由通路、西口広場の整備による交通結節点の強化により、青森駅周辺での交流人口が増加したことから達成できた。この他、同地区におけるJR東日本による青森駅東口駅舎跡地への駅ビル開発や国際クルーズターミナルの供用開始（H31.4）に伴ったクルーズ船来航の増加、同地区での、市役所の総合窓口機能や青森商工会議所の移転、あおもり駅前ビーチ供用開始、再開発事業による商業施設やホテル・マンションの整備も要因と考えられる。
	最 終 実績値	12402人 / 日	
2	年間観光施設入込客数		
	最 終 目標値	1555258人 / 年	自由通路、西口広場の整備による交通結節点の強化により、青森駅周辺での交流人口が増加したことから達成できた。この他、同地区におけるJR東日本による青森駅東口駅舎跡地への駅ビル開発や国際クルーズターミナルの供用開始（H31.4）に伴ったクルーズ船来航の増加、同地区での、市役所の総合窓口機能や青森商工会議所の移転、あおもり駅前ビーチ供用開始、再開発事業による商業施設やホテル・マンションの整備も要因と考えられる。
	最 終 実績値	1850108人 / 年	